

工 | 大 | 広 | 報

2018年4月4日発行(年4回発行)

No.289 Spring

2018

2018年4月4日発行

(年4回発行)



ご入学おめでとう
新入生の皆さんへのメッセージ
在学生によるキャンパス紹介

東北工業大学吹奏楽部による恒例の新春ロビーコンサートを終えて



創造から統合へー 仙台からの発進
東北工業大学

ご入学おめでとうございます

学びは、すべての時と場にあります

学長 こんの ひろし
今野 弘

本学のスローガン「創造から統合へー仙台からの発進」は、本学の建学の精神および理念を端的に表現しています。入学生はその意味をかみしめ、実践する努力をしてください。

「創造」は、新しい知識や理論を見出すこと、方法、技術、製品、環境を造りだすこと、そして有為な人材に成長することであり、「統合」とはそれらを社会や人類に役立てることを表わしています。それを仙台の地で学び、出発点としようということです。

「創造」を実践するため、勉学で大切なことは、日常の疑問や課題を発見すること、それを自分で納得するまで調べるという積極的な姿勢です。

「統合」という活動は、それを施す人間性に大きく関わるので、社会や人にやさしく対応できる感性を養うことが大切です。

本学では、一人ひとりにその能力を付加し、人格を成長させる環境、つまり教育研究および正課外プログラム、ご家族、地域をはじめ周りの方との協力体制、学生目線に立った施策、そして熱心な教職員など学びの環境を整えています。

学びは、学生時代の時間、身を置いている空間、すべての時と場にあります。みなさんが活躍できる未来のステージへと導くことが、本学の使命です。



工学部長

新しい自分を見つけるための 4年間がはじまります

こばやし まさき
小林 正樹

電気電子工学科 教授



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからはじまる大学生としての生活に期待いっぱいのことと思います。

本学は50年を超える歴史を地域とともに歩んできました。さまざまな分野で活躍する技術者やクリエイター、研究者を輩出してきましたが、皆さんもその先輩に続く若い力として、大いに期待されています。

社会はいま、AI、IoTに代表される第四次産業革命やSociety 5.0と呼ばれる劇的な変化の中にあります。本学では、社会の変化に柔軟に対応できる人材として、個性を伸ばし、生きる力を養う教育を実践しています。皆さんもその中で新しい自分を発見することになるでしょう。

しかしそのためには、アンテナを張り巡らせあらゆることに興味をもち、何事にもすすんで積極的に取り組む姿勢が大切です。与えられることを待つだけでなく、さまざまなことに果敢に貪欲に挑戦してみましょう。大学生という自由で贅沢な時間を有意義に、そして楽しく過ごされることを希望します。

ライフデザイン学部長

多世代の人々との交流を実践し、 各自のライフデザインを見つめよう!

きくち りょうかく
菊地 良覺

安全安心生活デザイン学科 教授



本学のライフデザイン学部への入学おめでとうございます。在学生はじめ教職員一同は、心より皆さまの入学を大歓迎いたします。

ライフデザイン学部は、開設から11年目を迎える3学科からなる学部ですが、本学の50年を超える工学の歴史を継承しつつも、社会の要請に応じられる文理融合型の教育方針を掲げ、これまでに実社会で対応できる多くの卒業生を輩出してきました。ライフデザインの対象は、個人から企業や地域社会までと広い領域になることから、世代間を超えた人々とのやり取りができる人材育成が強求められることとなります。

従って、大学で学ぶことは、他者とのやり取りができる基礎から専門領域までを修得し、具体的な「ヒト・モノ・コト・場」の有り様の観察から直面する課題解決までの提案を求められることとなります。

まずは自分が暮らす地域の資源を見つめなおすことも、提案への大きなヒントになると言えます。

また、生涯の友となる多くの仲間づくりをすることも解決の一つになると思われますので、ぜひとも世代を超えた仲間づくりの中から、人間力を高めることを期待いたします。

工学部

電気電子工学科



自ら学び、考え、挑んで輝こう

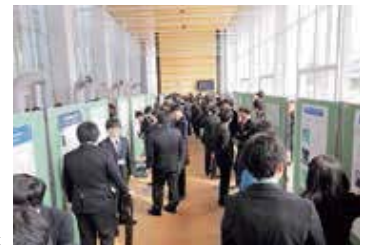
まるやま つぎと
丸山 次人 学科長 教授

ご入学おめでとうございます。本学科は、昨年度電気電子工学科として生まれ変わりました。皆さんはその第二期生となります。社会基盤であるエネルギーを支える「電気工学」と、あらゆるモノを智能化するマイコンを支える「電子工学」とを、どちらも学べる点が特徴です。個の尊重と実践教育をモットーにして、「皆さんが輝く学科」を目指しています。特に、3つの専門分野・資格試験支援講座・創造開発・研究者育成プログラムなどを用意して、一人ひとりの個性に合わせた教育と社会のニーズに合った実践教育に努めております。

大学は、「自ら学び、自ら考え、自ら挑む」ところです。目標を持ちさまざまなことを学び、考え、挑んで自らの能力を開花させ、輝いてください。4年後、皆さんが電気電子工学技術者として社会に巣立つことを楽しみにしております。



学外オリエンテーション（グループワーク発表）



卒業研修ポスター発表

工学部

情報通信工学科



未来の情報通信技術者のみなさんへ

くどう えいすけ
工藤 栄亮 学科長 教授

ご入学おめでとうございます。本学科は本学創設時に設置された通信工学科を母体とし、2004年に現在の名称に改称された伝統ある学科です。情報通信技術と訳されるICTという言葉も普及し、IoT、ユビキタスなどICTに関連する技術用語も身近なものとなりましたが、技術は日進月歩で常に進化しています。社会に出て情報通信ネットワークを支える技術者として活躍するためには、常に学び続けることが必要です。大学での勉強は単に知識を暗記することではありません。学問を体系的に学び、問題に立ち向かい、解決策を創造する手法を身につけることが大切です。そして、このような手法を身につければ、社会に出てどのような分野に進んだとしても、恐れることはありません。

ぜひ、本学科で考える習慣を身につけ、ご活躍されることを期待しています。



卒業研修ポスター発表会

工学部

建築学科



将来に備えるための確実な技術と知識

いしい さとし
石井 敏 学科長 教授

ご入学おめでとうございます。建築学科52年目となる本年（2018年）も、多くの新生を迎えることができました。心から歓迎します。さて、今日からの4年間（約1,500日）はあっという間です。大学生活や建築の学びに慣れることで精一杯の1年生。課題やレポートに追われて終わる2年生。研究室の仲間との時間が楽しく、また建築のおもしろさを再発見する3年生。自身の興味や関心に向き合いながら、就職活動や卒業研修に没頭しているうちに卒業を迎える4年生。人生にとって貴重でかけがえのない時間です。日々の積み重ねとその蓄積が将来への道を作ります。「今」皆さんが抱く夢や目標を大切に頑張りてください。これからの時代は変化の激しい、また先が見えない不確実な時代です。だからこそ本学科での学びを通じて確実な技術と知識、そして社会で通用する力を身につけましょう。皆さんの学びを応援します。



入学直後の1年生ワークショップでの記念撮影（2017.04）

工学部

都市マネジメント学科



安全で豊かな社会生活を支えるために

たかはし としひこ
高橋 敏彦 学科長 教授

ご入学おめでとうございます。本学科の前身は、1967年に創設された土木工学科です。2003年に建設システム工学科、2011年に都市マネジメント学科へ名称を変更して現在に至っております。土木工学を教育基盤として、社会の要請に応じた分野も取り入れた学科でもあります。

2018年の本年は創立51年目に当たり卒業生は6700名を超え、東北地方を中心に全国各地で公務員や民間企業の土木関連の職場で活躍しております。防災・減災からインフラと呼ばれる道路、鉄道、上下水道、空港、港湾など私たちが安全で豊かな社会生活を送るうえで、必要不可欠な分野を学ぶ学科です。

大学生活4年間は、最も自由でそして人間的に大きく成長できる大切な時期です。目標を持って充実した時間を過ごしてください。



講演会
(卒業生他
110名出席)



祝賀会(卒業生他300名出席)
学科創立50周年記念事業(2017.11.18)

工学部

環境エネルギー学科



多様性に刺激を受けて

やまだ かずひろ
山田 一裕 学科長 教授

ご入学おめでとうございます。環境問題解決に向けた学びだけでなく、東日本大震災後、とくに注目されたエネルギーのあり方にも取り組もうと設立されたのが環境エネルギー学科です。将来、技術者となって東北が抱える環境・エネルギー問題の解決に関わりたいと本学科に進学された方も多くでしょう。本学科は、工学の視点を持ち、エコロジーとエネルギー、そしてこれらをつなげるマネジメント（社会の仕組みと活用方法）を基盤にさまざまな学びの機会を有しています。学びの選択肢が広いということはそれだけ刺激もたくさんあります。大学では、与えられたものだけ学んでおけば良い、では成長が限られます。刺激を受けて自らがさらに学ぼうと自立していくことが大切です、その学びの支えになりたいと教職員一同願っています。共に頑張りましょう。



1年生・東松島スマート防災エコタウン見学

ライフデザイン学部

クリエイティブデザイン学科



デザインの力を育む

さかて ゆうじ
坂手 勇次 学科長 教授

ご入学おめでとうございます。クリエイティブデザイン学科は、2008年に設立されてから、今年で10周年を迎えます。その前身である工業意匠学科が開設した1967年から数えると50周年にもなります。その長い歴史と伝統を受け継ぎ、今年もまた新たに多くの新入生を迎えることができたことを大変嬉しく思います。

デザインの語源はラテン語で「計画を記号に表す」という意味の「de+sign」だと言われています。デザインには、ある問題を解決するために思考の組み立てを行い、それを表現し伝えること、という意味があります。それは、色や形のデザインに留まらない本質的なデザインの力です。本学科では、幅広い領域の知識と高い専門のスキルを学ぶことで、デザインの力を活かし、社会に貢献できる創造的人材を養成します。皆さんの熱意ある学びに期待しています。ともに頑張りましょう。



身近なものを調査し共有しながら、デザインへのまなざしを身につけます



たくさん失敗し、気づき、考えましょう

こやま ゆうじ
小山 祐司 学科長 教授

ご入学おめでとうございます。本学科は、ライフデザイン学部の学科として生まれ変わって11年目になります。前身のデザイン工学科は工学部に所属し、合わせますとその歴史は50年余となります。従って、諸君の先輩はさまざまな職場で活躍しており、数年後に迎える就職活動の大きな支えとなることでしょう。本学科は、技術者としてだけではなく、生活者として意識して学び、社会に貢献できる人材を育成しています。生活の場として、「住まい」だけではなく「地域」のことも含め考え、お年寄りや子どもや障がいを持つ人々という「社会的弱者」の視点にも立った、より良い暮らしづくりを目指す学科です。それには、自ら観察し、行動し、失敗を経験し、気付くことが大切です。

学科教職員は、精一杯応援いたします。新入生諸君が、自立的かつ積極的に感じたり、行動し、時には大失敗を経験されることを、大いに期待しております。



地域イベント参加GREEN LOOP SENDAI 2017 工大木組み屋台



特別養護老人ホーム夏祭り参加 地域イベント参加：秋保野尻そば祭り



目標は「できるビジネスパーソン」

おかべ まさお
岡部 雅夫 学科長 教授

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。経営コミュニケーション学科は、2008年に設立された、皆さん同様、今まさに成長期にある若々しい学科です。「できるビジネスパーソン」を養成するこの特色ある学科で、皆さんは、社会に出て必要となる経営、コミュニケーション、ICT関連の科目を幅広く学ぶとともに、それらを実際に活用できるよう統合化するためのより実践的な科目を学びます。また、皆さんには、いわゆる学業だけでなく、学生時代でなければ経験できないさまざまなことに積極的にチャレンジしてもらいたいと思います。いろいろなことに悩み、苦しみ、もがき、そして楽しんでください。それらすべては、社会に出てから必ず役立ちます。皆さんの学生生活が実り多いものとなるよう、経営コミュニケーション学科教職員一同、全力で応援します。



2017年度卒業研修ポスター発表会



この世界のより広く深い理解を目指して


たかはし てつり
高橋 哲徳 共通教育センター長 教授

ご入学おめでとうございます。共通教育センターは、全学科の共通教育を担当しています。皆さんは入学後、それぞれの学科で専門分野について学ぶこととなりますが、卒業後に社会の一員として活躍するためには、国際社会や地域社会で育まれてきた文化を理解する力、他の人々とコミュニケーションをとりながら問題を解決する力、自然現象を深く知りその知識を応用する力を身につけていることもとても重要です。このような力を養うための、いわゆる教養教育を行うことが共通教育センターの役割です。また、これまで以上に主体的な姿勢が求められる大学という学びの場へ、皆さんがスムーズに移行できるようサポートすることも共通教育センターの大切な役割の一つです。この世界のより広く深い理解を目指して、われわれ教員とともに歩んで行きましょう。



2017年10月大学祭 物理実験参加者の皆さんと

研究室で学んだこと

工 学 部	電気電子工学科	葛西重信研究室	
バイオセンサーを用いた最先端のセンシング研究			
かさい しげのぶ 葛西 重信 教授		ささき りょうた 佐々木 瞭太 (中央) / たかはし ゆうたろう 高橋 雄太郎 (右)	

葛西 環境や医療への貢献を目的に、バイオセンサーを使った研究を行っています。電気化学をベースにナノやピコといった微小な電流値で捉える実験を行い、水質に毒性がないかを調べたり病気の診断に応用したり、ということを目指しています。

佐々木 研究室に入って、自分でマイクロ電極を作れるようになったことが自慢です。先端が10万分の1cmほどしかないもので、最初は1本を作るのに2、3時間かかっていましたが、今では30分くらいで作れるようになりました。



蛍光顕微鏡で細胞を継代しているシーン

葛西 繊細な技術を習得しましたね。実験は一筋縄ではいかなかったかと思いますが、どうでしたか？


佐々木 僕は、植物の光合成を温度別に捉える研究を

しました。生き物の場合は状態によっても変わってくるので、解析に苦労しましたが、行き詰まったときには葛西先生が助言をくださるので安心感がありました。

高橋 僕は、老化や病気の原因物質であるエイジスというタンパク質を電気化学で捉えられないか研究をしています。卒業後は大学院に進学し、研究室に残って葛西先生のご指導を受けながら、実際にエイジスを捉えていきたいと思っています。

葛西 高橋さんの研究はまだ誰もやっていない世界に先駆けた新しい分野。これを延長して行って、複数のセンシング技術をおさえたバイオチップを設計してほしいと願っています。引き続き一緒にがんばりましょう。

佐々木 僕は就職しますが、研究を通して考察する、検討する、原因を探るという訓練ができたので、研究室での経験を生かして社会でもがんばっていきたいです。

工 学 部	情報通信工学科	鈴木健一研究室	
課題解決にいち早く着手して、社会をよくする人に			
すずき けんいち 鈴木 健一 准教授		こんの みきや 今野 幹也	

今野 車の自動運転に付帯する機能で、交通標識や信号を検出する精度を高める研究を行ってきましたが、目的を達成するために試行錯誤する中で、だんだん研究することが「おもしろい」と思うようになってきました。

鈴木 今野君を含め、4年生はとても積極的で、学生同士で教え合ったりするような雰囲気がありましたね。

今野 たまたまそんなメンバーが集まったのだと思いますが、僕が先生の研究室に入ったのは、人工知能について勉強したいと



自動運転車などに必要な信号検出の精度を高める研究

思っていたところ、先生が一番強く「がんばってみて」と言ってくれたからなんです。

鈴木 人工知能は、最近ではどんどん身近になっているので、大学生でも取

り組めると私は思っているんです。

今野 3年生の夏休みに電気関係の学会に参加して、先輩の研究を引き継ぎ、その成果を発表させてもらったのはいい経験になりました。そのときのテーマが自分の卒業研修のテーマにつながったのも、よかったと思っています。

鈴木 いまは、とにかく先に手をつけるとビジネス展開がスムーズになるという状況があります。今野君はそういうことができる人だと思うので、ぜひ新しいことを始めて、社会を良くする人材になってください。

今野 ありがとうございます。これからも自分が思ったこと、考えたことは「誰かがやってくれるだろう」ではなく、率先してやっていこうと思います。この研究室のドアをオートロックにしたように(笑)。先生や後輩たちに会いたくなったら、また研究室にお邪魔するかもしれません。

鈴木 わかりました。いつでもどうぞ。

耐震に関する専門知識とお金の価値を学んでいます

せつ しょうとう 教授
薛 松濤こせき まさと たかはし しゅうき
古関 雅人 (左) / 高橋 柊葵 (右)

薛 建物の耐震性能を向上させる研究の中で、免震や制震に関する課題を扱ってきましたが、2人はもう1人の学生と3人で、震災後に行われた名取市体育館の補修工事の効果、それも柱と屋根の接合部分にゴムシートを用いた補修に関する分析研究を行いました。卒業研修の内容はよくまとまっていたと思います。

古関 ありがとうございます。定期的に先生のチェックを受けていましたし、僕らにとっては「無理難題」を言い渡されて苦労したこともありましたが、何とかチームで乗り越えました。



役割分担をして進めた補修効果に関する解析研究

高橋 先生はことあるごとに「ひと言で説明して」とおっしゃるので、それに答えるのが大変でした。

薛 例えば、建物をつくる際の構造で大切なのは一

つ、「倒れなければ良い」のです。構造物のコンクリートは、引っ張られる力に非常に弱いので、「引っ張らなければ良い」のです。考え方をシンプルにすると、大切なものが見えてくるんですね。

古関 僕は先生の研究室に入って、建物の見方が変わったのは当然といえば当然なのですが、お金の見方が変わりました。

高橋 同感！経済工学というお金に関する勉強を最初にしたことで、世の中のお金の流れがよくわかりましたし、「お金の価値」について考える場面が多くなりました。実はこの学びは、就職活動の中で企業を決める際にも役立ったんです。

薛 それはよかったです。専門知識はもちろん大切ですが、経済の知識も持っていれば、それは強みになりますね。

古関 そのせいかどうかわかりませんが、うちの研究室は、みんながいち早く就職が決まりました。

高橋 その分、みんなで学びの集大成である卒業研修に集中でき、仲間との結束も固くなりました。充実感をもって大学生活を締めくくれたのではないかと考えています。

現状や現象を正しく理解することがもっとも重要

とまり なおゆき 講師
泊 尚志むらやま たく
村山 拓

村山 先生の研究室に入ったきっかけは、先生の「まちづくり計画」という講義を受けたことでした。もともと興味があるテーマであったこともあり、先生の研究室でなら、「好きなことが学べる」と思いました。

泊 私たちの研究室は国土・都市計画、運輸政策を扱っていますが、村山君が研究テーマに選んだ「ニュータウンにおける将来の交通環境改善」という課題は、実は私にとってもチャレンジングな内容でした。村山君と一緒に一から議論や調査をはじめ、私にとつ



学会にも積極的に参加、発表も体験した

ても非常に有意義な勉強となりました。

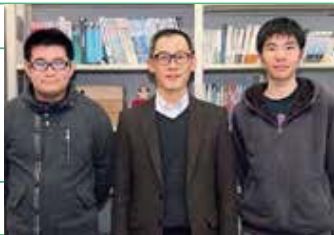
村山 先生と議論を重ねていくうちに、ニュータウンの将来について議論するために、現状や現象を正しく知ることが必要だと気づ

きました。そこで、資料の調査やアンケートを実施し、ニュータウンの現状や、お住まいになっている皆さんの意識やニーズを詳しく理解できたのは、とても重要でした。アンケートへのご協力をお願いする際の依頼文の書き方や、マナーなども勉強になりました。また、実際に皆さんから回答にご協力いただけたことがうれしかったです。手探りで自ら答えを求めるという活動は、大変でしたが非常に有意義でした。

泊 私が本学に着任したばかりで、研究室1期生となった村山君たちは先輩を見習って…ということができなかった。その中で、研究室の同期が切磋琢磨して各自の研究課題について追究していた姿は印象的でした。

村山 ありがとうございます。先生のアドバイスによって、自分の中にももの見方、考え方の引き出しが増えたと思います。また、研究を通じて、分からないことも増えました。もっと学びたくて大学院に進学する道を選びました。

泊 「分からないことが増えた」というのは、村山君の理解や研究そのものが深まっていることの証左ではないでしょうか。卒業研修の成果から、今後の研究課題が具体的に見えてきたと思います。早速、研究を掘り下げていきましょう。

工 学 部	環境エネルギー学科	穴澤正宏研究室	
<h2 style="color: #008000;">あらゆる問題について、見える形で提示する術を習得</h2>			
あなざわ まさひろ 穴澤 正宏 教授	さ さ き げん 佐々木 巖 (左)	まつもと しょうた 松本 渉太 (右)	

穴澤 生態系の保全を目的に、数理モデルとITを使って研究を行ってきたわけですが、卒業研修では生態系に限らず、ふたりとも興味深いテーマでシミュレーションを行っていましたね。

佐々木 僕は湖沼の水質汚染の問題を取り上げ、どうしたら水質が改善できるかをシミュレーションしました。

穴澤 英語の論文を調べてデータを集めたりと、難しいことをよくがんばっていたなと思います。松本さんはまた違う手法で、人間社会におけるシミュレーションを行っていましたね。



1・2年次に学んだプログラミングの技術を応用

松本 はい。災害が起きたときに、建物の中にいる人たちがどのように避難するかを検証しました。


穴澤 頭で考えているだけでは実際に何が起きるかわ

からないことを、目で見てわかるようにできるというシミュレーションのメリットを有効に活用した研究でした。

松本 プログラムが思い通りに動かなかったり、人に似せた動きができなかったりと苦労しましたが、エラーを一つひとつ解消していきながら、徐々にプログラムをスムーズに作れるようになりました。最終的に完成した瞬間はとてうれしかったです。うまくいかなくても、うまくいくことを信じてやっていく粘り強さを得ました。

佐々木 僕も途中でミスが見つかって何度もやり直しになりました。穴澤先生に助けていただいてなんとか結果を出せましたが、余裕を持って準備することの大切さを学びました。

穴澤 自分でテーマを決めて計画を立て、期限までに完成させるというのは非常に大変なことですが、ふたりとも諦めずに一生懸命やってきたからこそ完成したのです。自信を持って、卒業してからもその精神を忘れずに過ごしてってください。

ライフデザイン学部	クリエイティブデザイン学科	長崎智宏研究室	
<h2 style="color: #008000;">音のデザインを通して、表現の幅が広がる</h2>			
ながさき ともひろ 長崎 智宏 准教授	そね ひろのぶ 曾根 宏暢		

長崎 私は家電や自動車の音を作る仕事をしており、研究室ではサウンドデザインを研究対象にしています。本学に着任してまだ一年ですが、曾根さんは私が勤めていた映像制作会社でインターンをしていたので、以前からつながりがありました。

曾根 長崎先生がいらっしゃった会社の映像ディレクターの方の特別講義を受け、講義後すぐに連絡をして頼み込みました。

長崎 曾根さんのその行動力、すごいよね。チャンスがあったら自分から行ってみたいというのは、とても大切なことです。



珍しい音に触れられる専用機材も魅力

曾根 実際にアシスタントをさせていただきながら、2017年には東京芸術劇場で上演された演劇舞台の映像演出に携わるという大変貴重な経験をさせていただきました。

長崎 現場で学んだことは大きかったのではないのでしょうか？

曾根 スケジュールがタイトで変更が多く、想像以上に苦労しました。しかし、それまでフレームの中だけで表現をしていた映像が枠を出て、人の身体表現や舞台美術と交わることで、新しい表現ができたことは感動的でした。

長崎 時間がないなか、厳しい世界でよくがんばりましたね。卒業制作ではその演劇作品をベースに、オープニングムービーのような映像作品を作りましたね。

曾根 改めて作品を見直してみるとまた新しい解釈の仕方があり、制作時には気づけなかったことがたくさん見つかりました。長崎先生からアドバイスをいただきながら、見せ方や伝え方をより追究することができ、いい締め方ができたと思います。

長崎 卒業後は映像の制作会社へ就職、おめでとう！

曾根 ありがとうございます。長崎先生から教わった音楽的な要素やプログラミング技術を武器に、さまざまなアプローチから映像を作れるようになりたいです。そして夢は、長崎先生に曲を作っていただいて映像を作ることです。

アイデアから設計まで、モノづくりのいろはを学ぶ



なかじま さとし 教授
中島 敏

おがわ ゆうま
小川 侑真

中島 この研究室では生活の中から問題点を発見して、それを改善するためのモノづくりを研究しています。小川さんは盲導犬のハーネスについて研究し、実際に設計も行いましたね。

小川 はい。盲導犬を利用している方とお会いして、その使いづらさを目の当たりにしました。利用者の方に意見を伺いながら、自分でも使ってみて試作を重ねていきました。

中島 モノづくりでは、使う人の立場になってさまざまなアプローチをしていくことが不可欠だ、といつも話しているのですが、その教えをし



3Dプリンターも使いこなせるように

かり体現してくれました。

小川 人も犬も負担が減るように軽量化を目指し、グリップは握りやすく、長さやハンドルの向きを変えられ

るように設計しました。協力してくださった方々に完成したものを使ってもらえたときは、とてもうれしかったです。制作を進めるにあたってはわからないことだらけでしたが、一つひとつ中島先生からご指導をいただけたおかげです。

中島 デザインはイメージするだけではなく、形にしなければいけません。モデラーや業者の方に発注するための図面を描いたり、模型を作ったり、素材を選んだり、必要なプロセスが多々あります。私はモノづくりのプロなので学生相手でも容赦しないのですが(笑)、くじけずについてきてくれて安心していきます。

小川 3Dプリンターが使えるようになったのも中島研究室のおかげです。3DCADも一から教えていただき、それを使って図面を起こすことができるようになりました。

中島 頼もしい即戦力ですね。卒業後は商品開発の仕事に就くということで、今後は私と同じ仲間。楽しみです。

小川 日本全国、いえ、世界中の人たちに喜んで使ってもらえるものを作れるように、がんばります。

映像や写真、音などを通して第三者に届く表現を模索



さるわたり まなぶ 准教授
猿渡 学

あべ わかな
阿部 若菜

猿渡 研究室のメンバーたちは、自分でテーマを決めて、短編映画や音、写真などの表現を通して第三者に自分の考えとか思いを伝えようとがんばっているわけですが、阿部さんの写真の進み具合はどんな感じですか。

阿部 これまでの反省を踏まえて、「今度こそは!」と東京まで撮影に行ったのですが、自分の思う写真が撮れないんです。

猿渡 阿部さんが写真で表現したいと考えているのは、「日常と非日常」でしょう。このテーマを聞いたとき、「何て難しい



映像や音楽などを通して思いや考えを表現

テーマを選んだんだろう、苦労するよ」と思ったんです。

阿部 先生は悩む私にアングルや構図に関して、いろいろなアドバイスをくださいました。とて

も参考になります。

猿渡 4年生になってから、伝えたいことが届く写真に変わってきたかなと思いますが、作品に関しては第三者にテーマが伝わるものになるまで、今後もダメ出しは続きます(笑)。

阿部 「変わった」のはうれしいです。これも師匠のおかげです。あ、師匠とは猿渡先生のことです。大学で師匠と呼べる先生に出会えるとは思っていませんでした。

猿渡 師匠(笑)。何でも良いですが、好きなことを好きなようにやってください。私が学生の皆さんに望むのはそれだけです。

阿部 先生の研究室に入って、好きなことを好きにやることの大変さ、つらさもわかりました。でも、「辛い」と思うことを続けて、突破口を見出すことが、自分の成長につながるのではないかなと思うので、がんばってみようかなと思っています。

猿渡 卒業研修はもちろん、社会人になっても、やりたいことは最後まであきらめないで、幸せな人生にしてください。

阿部 はい。がんばります。

CAMPUS INFORMATION

友だちと語り合う場所や
キャンパスライフを
サポートしてくれる
施設を紹介します。

新入生の皆さんも、
おいに利用しましょう。
ここで紹介した以外にも、
楽しめる場所もたくさんありますので、
私たち学生に聞いてください。



[1号館] totech LOUNGE

おの 小野寺 伸さん
建築学科 3年



[1号館] 保健室



[1号館] 学生サポートオフィス



[9号館] 学修支援センター



[5号館] 女子学生ラウンジ



[4号館] ユニパル売店



[10号館] totech FORUM



[4号館] 学生食堂



[中庭]



[附属図書館 本館]



[史料センター]



[クラブ棟]

東北工業大学には、八木山と長町の2か所にキャンパスがあります。いずれのキャンパスにも、緑豊かな敷地の中に、学生の皆さんの快適なキャンパスライフをサポートする各種施設があります。このページでは、キャンパスを4名の先輩が紹介します。(学年は撮影時)

新入生の皆さんも、自分だけのお気に入りの場所を探してみませんか。

私たちのお気に入りのスポットを紹介します。見晴らしの良い場所などの癒しの空間もあります。

あらき ゆうか
荒木 優花さん
クリエイティブデザイン学科 2年

かめや すみれ
亀谷 堇さん
クリエイティブデザイン学科 2年



[1号館] 作品展示スペース



[2号館] 屋上



[1号館] 撮影スタジオ



[3号館] 大学生協



[3号館] 附属図書館 分館



[4号館] ウェルネスセンターカウンセリングルーム



[4号館] 長町キャンパス事務室



[4号館] 学生ラウンジ



[陶芸工房]



[学生ホール] 学生食堂



[ヤギ小屋]



平成29年度課外活動優秀者表彰式

平成29年度に体育または文化活動等の課外活動において、優秀な成績を収めた団体と学生個人の栄誉を讃える表彰式が、2月15日(木)八木山キャンパスで行われました。

課外連加盟団体に所属する学生約100名と多くの教職員が見守る中、今野学長と小泉後援会長から表彰状と副賞が授与された後、受賞者に向けてお祝いの言葉が贈られました。

表彰された団体や学生個人だけでなく、式に出席した学生たちにも来年度に向けて良い刺激となる表彰式となりました。(学年は受賞時)



[学内団体]

クラブ名	大会名または活動内容	成績など
弓道部	第57回東北地区秋季学生弓道大会Ⅳ部リーグ戦	団体第1位 入替戦勝利、Ⅲ部リーグ昇格
準硬式野球部	平成29年度東北地区準硬式野球春季・秋季リーグ戦(Ⅱ部)	春季:最優秀新人賞1名、ベストナイン受賞選手3名 秋季:ベストナイン受賞選手2名
卓球部	平成29年度東北学生卓球連盟リーグ戦 男子団体Ⅳ部	第1位 秋季Ⅲ部リーグ昇格
バレーボール部	第51回東北バレーボール大学男女南リーグ戦(男子)	優勝 入替戦勝利、Ⅱ部リーグ昇格
吹奏楽部	・第50回アンサンブルコンテスト宮城県大会予選仙台太白地区大会 ・山形育成園(障がい者支援施設)ガーデンパーティー、赤石分校青空レストランコンサート、八木山フェスタ等への参加	・木管三重奏銀賞 ・県外施設での演奏や地域交流イベントに積極的に参加し、大学の知名度向上に貢献した。
環境サークルたんぼぼ	平成29年度みやぎの3R普及啓発事業3R文化祭・学園祭支援事業	学園祭の部 優秀賞(大学祭における3R活動)
大学祭実行委員会	第3回運動祭、スポーツ大会、第42回工大祭開催(総来場者数5,142人)	チケット制でのコンサート企画の実施や他大学との連携による企画・宣伝で、昨年比約1.2倍の来場者数を記録した。

[学外団体]

ジュニア&ユースコーラス Raw-Ore所属 工学部 情報通信工学科 3年 小向 健太郎 工学部 情報通信工学科 2年 野口 颯樹	第70回全日本合唱コンクール全国大会	大学職場一般部門 大学ユース合唱の部 第7位
---	--------------------	---------------------------

[個人(学内・学外)]

	氏名(学科・学年)	大会名または活動内容	成績など
工学部	國丹 愛花 (電気電子工学科) 2年	第47回東北地区秋季女子学生弓道大会 Ⅲ部Bリーグ戦	個人戦 第2位
	垣崎 一樹 (電気電子工学科) 3年	平成29年度東北学生卓球連盟春季リーグ戦男子Ⅳ部リーグ	優秀選手賞
	渡辺 慎吾 (電気電子工学科) 4年	第70回宮城県民体育大会 少林寺拳法演武大会	男子三段以上の部 第1位
	横井 れみ (電気電子工学科) 4年	第6回サイエンス・インカレ(文部科学省主催)	サイエンス・インカレ・コンソーシアム奨励賞(DERUKUI賞) 口頭発表部門
	田原 成起 (情報通信工学科) 2年	第6回北部学生春季公認記録会	50m背泳ぎ 第1位
	兼子 太希 (建築学科) 1年	第70回山形県陸上競技選手権大会	走り高跳び 第3位
	武田 雄大 (建築学科) 2年	・平成29年度(38回) 仙台市武道まつり弓道大会 ・第57回東北地区秋季学生弓道大会 Ⅳ部リーグ戦	・男子の部第1位 ・個人戦 第2位
	佐藤 徹哉 (建築学科) 3年	第15回主張する「みせ」学生デザインコンペ	ファブリック部門賞佳作
	石岡 郷梨 (建築学科) 4年	・大牟田市主催[民間空き家活用・回遊学生コンペ] ・日本建築学会設計競技(学生)	・審査員特別賞 ・支部入選
	齋藤 秀 (建築学科) 4年	日本建築学会設計競技(学生)	支部入選
	近石 さゆり (都市マネジメント学科) 1年	2017年全東北ダンス選手権大会後期全宮城	D級 アマスタンダード 第2位
	芦 智稀 (都市マネジメント学科) 1年	平成29年度東北地区大学準硬式野球春季リーグ戦 二部リーグ	最優秀新人賞 東北選抜選出
	古里 恭平 (都市マネジメント学科) 2年	平成29年度国民体育大会東北ブロック大会兼第44回東北総合体育大会(ボクシングの部)	成年男子バンタム級 宮城県代表 第2位
	和野 優大 (都市マネジメント学科) 3年	・第57回東北地区秋季学生弓道大会 Ⅳ部リーグ戦 ・平成29年度(38回) 仙台市武道まつり弓道大会	・個人戦 第1位 ・男子の部 第2位
	ライフデザイン学部	佐々木 巖 (環境エネルギー学科) 4年	第42回東北学生アメリカンフットボールリーグ戦 二部リーグ
伊藤 胡桃 (クリエイティブデザイン学科) 3年		・第35回東北ライフル射撃選手権大会 ・第72回国民体育大会 えひめ国体	・10mAP40W 第1位 ・ライフル射撃競技 秋田県代表
佐藤 黎 (安全安心生活デザイン学科) 4年		平成29年度仙台六大学野球春季リーグ戦	ベストナイン(外野手)
後藤 絵斗 (経営コミュニケーション学科) 1年		第70回宮城県民体育大会 少林寺拳法演武大会	男子三段以上の部 第1位
	小牧 将 (経営コミュニケーション学科) 3年	平成29年度第42回東北地区大学サッカーリーグ2部B	得点ランキング 第2位



団体の部

弓道部



苦しい状況でも諦めず

わの ゆうだい
和野 優大
都市マネジメント学科 3年

この度は、このような賞を受賞したことを大変光栄に思います。そして、関係者の皆さまに、深く感謝申し上げます。

29年度は男子が目標としていたⅢ部リーグに昇格することができました。入替戦の内容は苦しいものでしたが、部員たちが最後まで強気な姿勢で試合に臨んだ結果、無事に勝ちを拾えたので良かったと思います。

この勢いで、30年度は男女共にⅡ部リーグに昇格できるよう頑張りたいと思います。また、我々弓道部は部員を募集中です。乗りが良くて優しい先輩たちが出迎えますので、ぜひ弓道場へ足を運んでみてください。



吹奏楽部



想いを込めて届ける音楽

こん ゆうすけ
昆 雄輔
建築学科 3年

この度、私たち吹奏楽部でこのような賞をいただき、大変光栄に思うとともに関係者の皆さま、ご支援いただいた皆さまに深謝申し上げます。

29年度の吹奏楽部は学内におけるイベントの参加はもちろん、学外での演奏に力を入れ県外へも活動の場を広げました。昨年度よりも人数が増えたことで曲に厚みが増し、より聞き応えのある演奏となりました。

今後も演奏する場を増やし、私たち吹奏楽部の音色を届けられるよう精進して参ります。



個人の部

陸上部



最高の跳躍を

かねこ たいき
兼子 太希
建築学科 1年

この度はこのような賞に選出いただき、誠に嬉しく光栄に思います。高校時代からはじめた陸上競技「走高跳」で、ベストを更新できるよう日々練習に励んでいます。

陸上競技の種目は全体的に記録更新が難しく、怪我がつきもののスポーツですが、それらを乗り越え身体を鍛え続けることが重要です。これまで指導されてきたことや、自分が練習してきたことの積み重ねを信じて、走高跳を楽しみたいと思います。

今後も勉強と部活動の両立を図りながら、自分を高めていきます。



サッカー部



結果にこだわる

こまき すずむ
小牧 将
経営コミュニケーション学科 3年

この度は、このような賞に選出していただき、大変光栄に思います。また、日頃ご指導いただいている草野修治監督をはじめ、ご支援いただいている関係者の皆さまにこの場を借りて感謝申し上げます。

29年度から、サッカー部は強化指定部となり、今まで以上に力をいれています。30年度は「1部昇格」を目標に掲げ、結果にこだわって活動をしていきたいと思っています。

今後とも、サッカー部へのご声援の程、よろしくお願いいたします。



◆ICTを活用したビジネス革新セミナーvol.4

中小企業向けにICTを活用したビジネス革新セミナーを平成30年1月23日(火)、石巻市内にて開催しました。スマイルアップ合資会社 熊谷氏、サイボウズ株式会社 武田氏を講師に迎えて、クラウドサービスの活用及び外注することなく自社内で作れる社内システムについて紹介しました。各種さまざまなサービスがあるクラウドサービスとはどのようなものなのか、どのように業務に活かせるか、また働き方改革に向けてICTをどのように導入すれば経営革新、業績アップにつながるのかを活用事例をもとに紹介しました。31名の地域企業の方にご参加いただき、熱心に聴いていただくとともに、モデル企業を選びその場で実際に社内システムを作成しました。



中小企業の「働き方改革」自分で作れる社内システムセミナー

◆平成30年度も復興大学を実施します

復興大学は、震災直後から被災地復興支援の担い手および今後のリーダーとなる人材育成、被災地企業の復興支援、地域の将来を担う児童・生徒の学習支援、災害ボランティア活動などの事業を実施してきました。

本学が担当している復興人材育成教育事業では新たに「県民講座」を開講し、本学、東北大学、宮城学院大学などから講師を招き30講座を実施しました。併せて、復興の現場を学ぶための現場実習(関上・山元コース、石巻・雄勝コース、女川・東松島コース)を行い、学生に加え、たくさんの県民の方に参加していただき、好評を得てきました。30年度も幅広い内容で開講します。

また、本学では「企業支援ワンストップサービス」事業も推進しており、被災地域の方とともに地域や企業の再生、発展に向けた支援を実施しています。コーディネーターによる企業訪問をはじめとした相談対応の実施、地域や企業課題に対し、本学のシーズを生かした支援や他の学術研究機関とのマッチングなどによる解決に取り組んでいます。さまざまな課題に対し、支援、提言を行い地域のさらなる復興と活性化に貢献することを目指していきます。



現場実習(石巻・雄勝コース)



人材育成講座ではディスカッションが活発に行われています

◆「産学官金連携フェア2018みやぎ」への出展報告

仙台国際センターにおいて、平成30年1月18日(木)開催された「産学官金連携フェア2018みやぎ」に、本学から8研究室が出展しました。

工学部電気電子工学科からは、ロボット・AIブースとして藤田豊己研究室、水野文雄研究室の2研究室。メディカルヘルスケアブースには、丸山次人研究室、辛島彰洋研究室の2研究室が出展しました。また工学部環境エネルギー学科から、エコロジカル・再生エネルギーブースとして佐野哲也研究室、アグリ・バイオブースには牧雅康研究室がそれぞれ出展しました。

併せて産学・地域連携ブースには、環境エネルギー学科の丸尾谷子研究室、建築学科からは中村琢巳研究室の2研究室が、研究成果発表ならびにプレゼンテーションを行い、産学連携のマッチングのために出展しました。

当日は、多くの来場者の方が研究室ブースを訪問しました。

また研究プレゼンテーションで丸山次人教授、中村琢巳講師がプレゼンテーションを行い、大きな反響がありました。

本展示会出展に向け、各研究室の学生に搬入・搬出および当日のブース対応に多大な協力を得て、無事展示会を終了することができました。

今後も、県内の企業や研究機関、金融機関が一堂に会する場を有効活用し、さらなる研究促進、産学官金との連携を地域連携センターとして推進していきたいと考えております。



ブース展示 研究成果説明



研究成果をアピールしました



ブース視察



プレゼンテーション

◆本学主催による合同企業説明会を開催

キャリアサポート課

本学主催合同企業説明会を、3月5日(月)および6日(火)の2日間にわたり、江陽グランドホテルを会場に開催いたしました。この説明会は、来年春に卒業を控えた学部3年生と大学院博士(前期)課程1年生の合わせて679名を対象とするもので、今年度は本学生の継続採用実績を持つ企業321社の参加が得られました。多くの企業は本学OBを説明者として動員するなど、採用への意欲を強く打ち出していました。

本学学生は、事前に配付された説明会のガイドブックにより、訪問企業をピックアップして準備を整え、説明会に臨みました。

また、初日となる5日(月)の午前中には、合同企業説明会に先立ち「進路指導集会」を実施しました。千葉則行就職委員長の開会挨拶にはじまり、今野弘学長から参加学生に対する就職活動に向けたメッセージと、外部講師による講演が行われました。



採用担当者からの説明に聞き入る学生

◆工学部 環境エネルギー学科2年 及川朋克さんが行った人命救助の功労を称え、本学今野弘学長より表彰状が授与されました

教務学生課

及川朋克さんは、昨年12月12日(火) JR仙台駅構内において、電車待ちの男性がホームから線路に転落する異常を察知するや果敢に危険防止措置を施し、男性を救助いたしました。列車事故の未然防止および人命救助に貢献したことが高く評価され、宮城県鉄道警察隊から、12月21日(木)に感謝状が贈呈されております。

本学では、学生個人の自主的な功労に対する表彰規定を設けておりませんが、今回の人命救助等活動は十分表彰に値することから、1月12日(金)10号館1階toitech FORUMにて今野弘学長より表彰状が授与されました。

表彰式では、及川さんの友人や教職員が参集し、功労を称えました。及川さんは、「人として当たり前の行動をただけです。救助した男性が快方に向かっているようで安心しています。」と話し、笑顔を見せました。今後の学生生活においても及川さんの活躍に期待が高まります。



◆教職課程の3年生が仙台城南高校で一日実習

中島 夏子 教職課程センター 准教授

教職課程の3年生が、平成29年12月5日(火)に仙台城南高校で「一日実習」を行いました。この実習のハイライトは、探究科の1年生を対象に50分間の授業を行うことです。大学で何を学ぶのか、そのために高校では何をすべきなのかということ、自分の経験などを踏まえながら授業を行いました。このために、1か月前から準備をしてきた学生の意気込みが伝わったのか、高校生は熱心に話を聞いてくれました。学生はこの経験を活かして、約半年後の教育実習に臨みます。



高校生を前に、高校と大学の違いについて説明をする本学学生

◆双子の子ヤギが誕生しました

長町キャンパスで飼育している黒ヤギ(あん子)が、2月20日(金)2頭の子ヤギを出産しました。これは12月にヤギプロジェクトを卒業した白ヤギ(もち太郎)との間にできた子ヤギで、双子は今回が初めてになります。黒ヤギの雄と白黒混じりの雌です。長男(だいふく)や次男(ごまぞう)の時よりもやや小さめで産れましたが、1時間後には自力で立ち上がり、お乳を飲む姿が確認されました。甲高い鳴き声にとても癒されます。

ぜひ長町キャンパスに会いに来てください。



母ヤギとのひととき



平成29年度学位授与式

平成29年度学位授与式が、八木山キャンパス講堂(体育館)において3月20日(火)に挙行されました。ご父母、教職員、ご来賓列席のもと学部生586名、大学院博士(前期)課程15名、博士(後期)課程1名の代表に、今野弘学長より学位記が授与されました。

学部生代表のライフデザイン学部クリエイティブデザイン学科 荒木春花さんと修了生代表の工学研究科電子工学専攻 佐々木大雅さんが、今後の決意と家族、友人、教職員への感謝を込め、答辞を述べました。卒業生・修了生の皆さまの今後のご活躍を祈念しております。



平成29年度 学位記授与者数

学部 合計586名

工学部 合計422名

- 電気電子工学科 ……98名
- 情報通信工学科 ……99名
- 建築学科 ……122名
- 都市マネジメント学科 ……46名
- 環境エネルギー学科・環境情報工学科 ……57名

ライフデザイン学部 合計164名

- クリエイティブデザイン学科 ……52名
- 安全安心生活デザイン学科 ……59名
- 経営コミュニケーション学科 ……53名

大学院 合計16名

工学研究科 博士(前期)課程 合計14名

- 電子工学専攻 ……2名
- 通信工学専攻 ……1名
- 建築学専攻 ……6名
- 土木工学専攻 ……2名
- 環境情報工学専攻 ……3名

ライフデザイン学研究科

博士(前期)課程 合計1名

- デザイン工学専攻 ……1名

ライフデザイン学研究科

博士(後期)課程 合計1名

- デザイン工学専攻 ……1名

topics

環境サークル「たんぼぼ」(ISO学生サポーター)メンバー募集中!

代表 **菅野 優喜** かんの ゆうき 環境エネルギー学科 3年

環境サークルたんぼぼは、定期的な大学近隣の清掃活動や、他大学の環境団体と企業の方と連携しながら環境保全活動を行っています。



また、学内ではペットボトルのキャップや大学祭で使用する容器のリサイクルの推進、教室の消灯活動による省エネの推進などの活動に、現在45名で取り組んでいます。

たんぼぼは、学科・学年を問わず随時メンバーを募集中です。興味がある方は下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

八木山キャンパス：1号館4階 総務企画課(ISO推進事務局)
長町キャンパス：4号館1階 長町校舎事務室

ピア・サポーターの紹介

ピア・サポーターは、カウンセラーから心理学やコミュニケーションの訓練を受けながら、過ごしやすい大学づくりをサポートしている有志団体です。

現在は、ひとこと相談や居場所作りのためのイベント開催を中心に活動しています。

興味のある方は一緒に活動しましょう。

詳しくは両キャンパスのカウンセリングルームまたはTwitterで「東北工大長町ピア・サポーター」と検索してみてください。



2017年 大学祭にて

本誌に関するご意見・ご感想をお待ちしております。

〒982-8577 宮城県仙台市太白区八木山香澄町35-1
東北工業大学 入試広報課
TEL: 022-305-3144 FAX: 022-228-1813
E-mail: kohositu@tohotech.ac.jp

column

かみにし はじめ

上西 創 ウェルネスセンター カウンセラー

「障害」を生きる②: 障害の社会モデル



前号では「障害の個人モデル」についてお話ししました(バックナンバーは大学HPでご覧になれます)。「障害の個人モデル」とは、障害は障害者個人に解消すべき問題があり、障害者個人の努力によって障害を軽減し、社会に適應することが求められることです。障害とは違いますが、左利きを例に取れば右利きに矯正させられるといったようなものです。

現在では、左利き用のハサミが開発され、エレベーターのボタンも両側に設置されるようになるなど、左利きの人がありのままで生活しやすいように社会が変容してきています。また、道路の段差はなだらかな傾斜に変更され、信号機には補助音源が付くようになり、通信販売もメールで申し込めるようになりました。このように、障害者が社会参加しづらいのは、障害者を排除するようにデザインされている社会に問題があると捉え、障害者がありのままで生活しやすいように社会のデザインを変えていくことを「障害の社会モデル」と呼びます。

このような変化は障害者にとってだけでなく、健常者にとっても過ごしやすい変化であると言えます。エレベーターの両側にボタンがあることは混雑時に便利ですし、通話が苦手な方にとっては通信販売がメールでも申し込めるようになったことは嬉しい変化です。それでも、社会が多く数の障害者や少数者にとって生活しやすい環境を整えていくには時間がかかります。

その日が来るまで私たちにできることは、健常者にとって当たり前の社会を生きにくいと感じている人たちがいることを知り、理解と寛容さを備え、ともに生きていくよう配慮することではないでしょうか。

前期の主な行事予定(平成30年度)

4月

- 4日(水) 入学式
- 5日(木)~10日(火) 前期オリエンテーション
- 11日(水)~7月30日(月) 前期授業

8月

- 1日(水)~3日(金) 前期定期試験期間
- 6日(月)~9月14日(金) 夏季休業

6月

- 23日(土) オープンキャンパス

9月

- 3日(月) 前期成績発表 追再試験時間割発表
- 4日(火)・5日(水) 前期補習
- 6日(木)~11日(火) 前期追再試験
- 18日(火) 後期オリエンテーション

7月

- 7日(土)・14日(土)・31日(火) 前期補講日
- 21日(土)・22日(日) オープンキャンパス